

2016年10月3日

## AGC 旭硝子、インドおよびドバイに情報収集・マーケティング拠点を設置 —南アジア、中東・アフリカの高成長を取り込む—

AGC旭硝子（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）は、10月1日にインド事務所を同国ハリヤーナー州に設置し、また、10月下旬には中東・アフリカ事務所をドバイに設置いたします。これらの事務所は、高成長が見込まれる南アジアと中東・アフリカの情報収集とマーケティング拠点として活動し、今後の当該地域における当社事業の拡大を推し進めていきます。

当社は、コア事業が確固たる収益基盤となり、戦略事業が成長エンジンとして一層の収益拡大を牽引する、高収益のグローバルな優良素材メーカーでありたいと考えています。その実現に向けた基本方針の一つが、アジア地域の成長をAGCグループの成長機会として取り込んでいくことです。現在、当社は、高い経済成長が続くタイ、インドネシアなどの東南アジア地域で、建築用ガラス、自動車用ガラス、苛性ソーダや塩などの基礎化学品事業等を展開し、既に強い事業基盤を築いています。一方、インドでは建築用ガラスと自動車用ガラス事業を展開、サウジアラビアでは建築用高性能ガラス事業を、アフリカのモロッコでは自動車用ガラス事業への進出を決めています。

今般の両事務所の開設は、東南アジアから南アジア、中東までを面でつなぎ、ガラス事業だけでなく、化学品、電子、セラミックス等を含めたAGCグループの事業機会の創出を目的としています。情報収集とマーケティング活動を本格化させ、AGCグループの事業基盤を拡げ、アジアの高成長を取り込んでいきます。次の成長地域として期待されるアフリカ地域についても、今後の事業展開の可能性を探ります。

AGCグループは、経営方針 **AGC plus**のもと、2016年から2020年までの5年間の投資およびR&Dの合計予算枠1兆円に加え、主にM&Aを中心とした戦略投資枠として3,000億円を設定しています。これらを有効に活用して、スピード感を持って企業価値の向上を目指します。

以上

### 【インド事務所の概要】

社名 AGC インド事務所〔英文社名；AGC Asia Pacific (India) Pvt. Ltd.〕  
所在地 インド ハリヤーナー州 グルガオン

### 【中東・アフリカ事務所の概要】

社名 AGC 中東・アフリカ事務所〔英文社名；AGC Middle East & Africa FZCO〕  
所在地 アラブ首長国連邦 ドバイ

---

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC 旭硝子 経営企画部 広報・IR 室長 小林 純一

（担当：玉城 TEL: 03-3218-5603 E-mail: [info-pr@agc.com](mailto:info-pr@agc.com)）